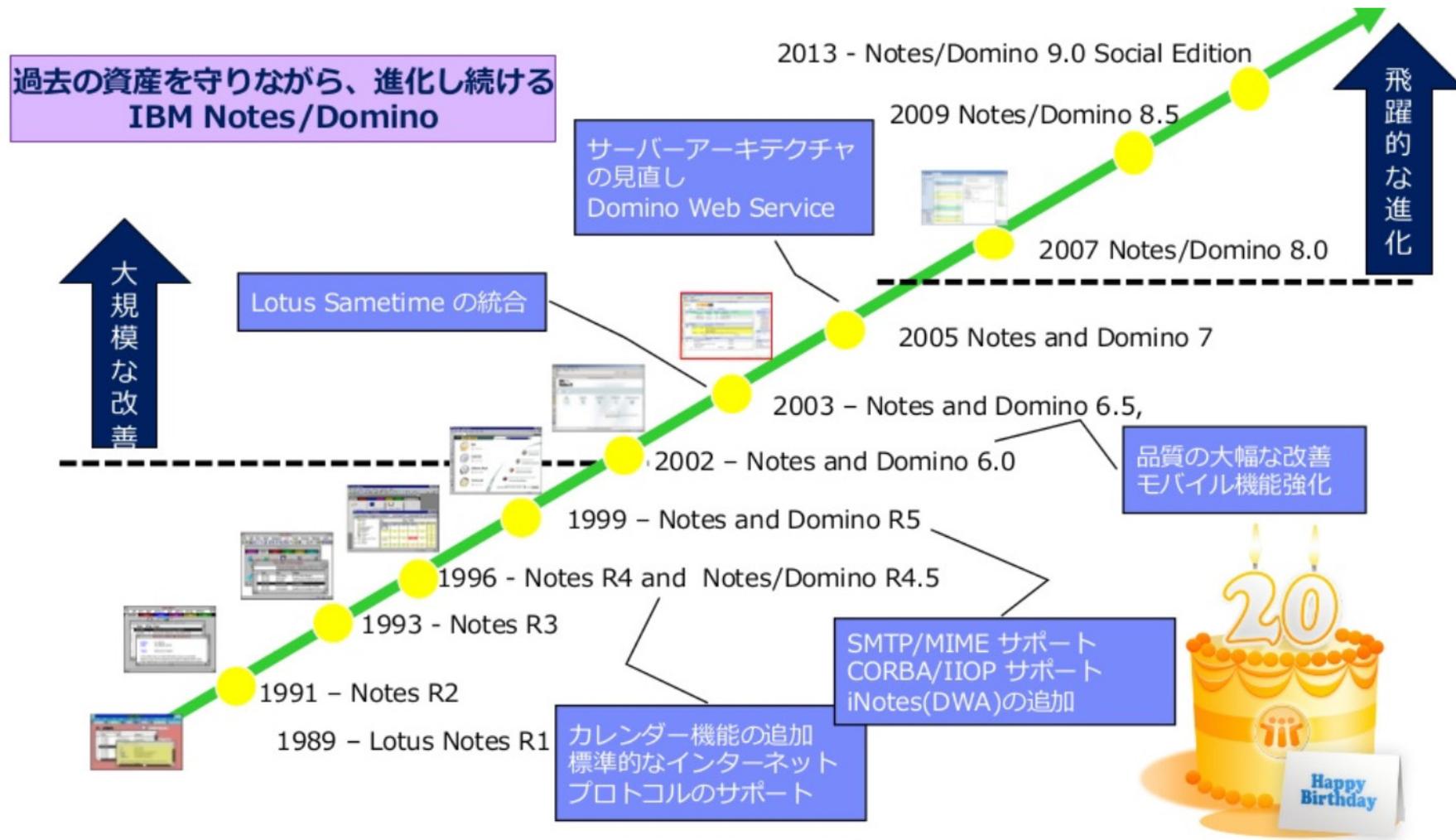


Notes/Domino 10 新機能ご紹介 (v10.0.1日本語版対応)

歴代バージョンのリリース年

バージョン / リリース	年	間隔年
Lotus Notes R1	1989	
Lotus Notes R2	1991	2
ノーツ R3J	1993	2
ノーツ R4J / R4.1J	1996	3
ノーツ/ノーツ ドミノ R4.5	1997	1
ノーツ/ノーツ ドミノ R4.6	1997	1
Notes/Domino R5.0	1999	2
Lotus Notes/Domino 6.0	2002	3
Lotus Notes/Domino 6.5	2003	1
Lotus Notes/Domino 7.0	2005	2
Lotus Notes/Domino 8.0	2007	2
Lotus Notes/Domino 8.5	2009	2
IBM Notes/Domino 9.0	2013	4
IBM Notes/Domino 10.0	2018	5
V11?	2019	1

Notes/Domino の歴史



Notes/Domino V10 の基本的なコンセプト

ビジネス・メール
(および企業内コラボレーション基盤)

- ▶ **カスタマイズ可能なメール環境としての進化**
メールを中心としたコミュニケーションのさらなる効率化、生産性の向上を追求します。

業務アプリ基盤

- ▶ **業務アプリのクラウド対応 & モバイル活用**
企業固有の業務アプリケーションがそのままモバイル端末でも利用できるようになります。(まずは、iPadから)

アジャイルな技術基盤

- ▶ **新しい開発者と開発技術のサポート**
新しい技術と技術者による企業内の業務アプリケーション開発が可能になります。

V10リリース状況（抜粋）

■ 2018年10月10日 - V10.0 ※英語版のみ

- IBM **Notes** 10.0 (Standard/Basic) 英語版 - Windows
- IBM **Domino** Server 10.0 英語版 – Windows, AIX, Linux（いずれも 64-bit版のみ）
- IBM Notes, Domino Designer and Admin 10.0 英語版 – Windows
- IBM Traveler 10.0 英語版 (多言語対応)
- IBM Client Application Access (ICAA) 2.0 英語版 – Windows

■ 2018年12月10日 – V10.0.1 英語版

- IBM **Notes** 10.0.1 (Standard/Basic) 英語版 – Windows, **Mac**
- IBM **Domino** Server 10.0.1 英語版 – Windows, AIX, Linux（いずれも 64-bit版のみ）
- IBM Notes, Domino Designer and Admin 10.0.1 英語版 – Windows
- IBM Traveler 10.0.1 英語版 (多言語対応)
- IBM Client Application Access (ICAA) 2.0.1 英語版 – Windows, **Mac**

■ 2019年2月6日 - V10.0.1 日本語版（各国語版）

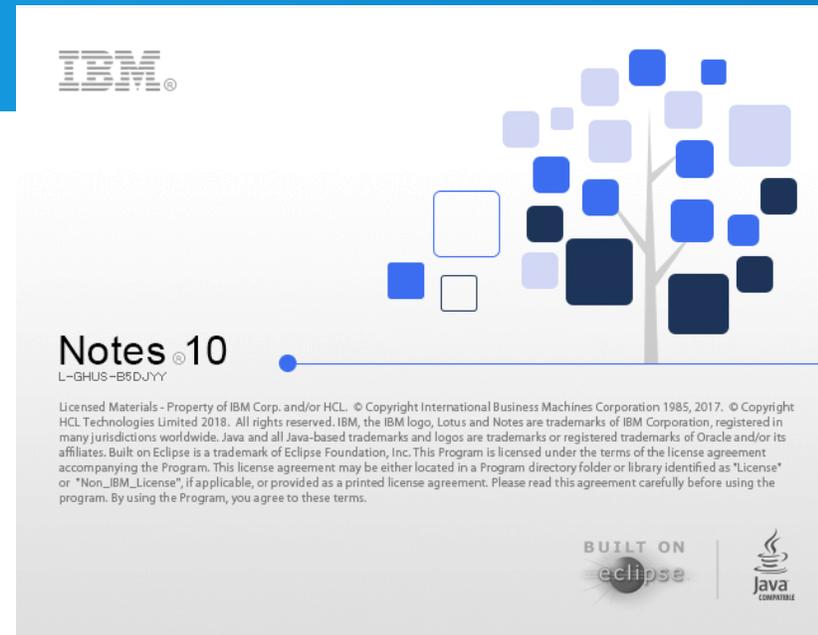
- IBM **Domino** Server v10.0.1 Language Pack for Windows **Japanese**
- IBM **Notes** 10.0.1 **日本語版** – Windows, Mac
- IBM Notes, Domino Designer and Admin 10.0.1 **日本語版** - Windows

2019年4月3日 修正版を再公開

不具合が発覚した為、3月14日に公開を一時中止しましたが、4月3日に修正版の公開を開始しました。

IBM Notes/Domino 10.0.x および IBM Traveler 10.0 のダウンロードについて
<https://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=ibm10737609>

Notes 10 の主な新機能



The image shows the splash screen for IBM Notes 10. It features the IBM logo at the top left. On the right, there is a stylized tree graphic composed of various shades of blue and black squares. Below the tree, the text "Notes 10" is displayed in a large font, with "L-GHUS-B5DJYY" underneath it. A horizontal line with a blue dot is positioned below the text. At the bottom, there is a block of small text regarding licensing and trademarks, and logos for "BUILT ON eclipse" and "java COMPATIBLE".

IBM®

Notes 10
L-GHUS-B5DJYY

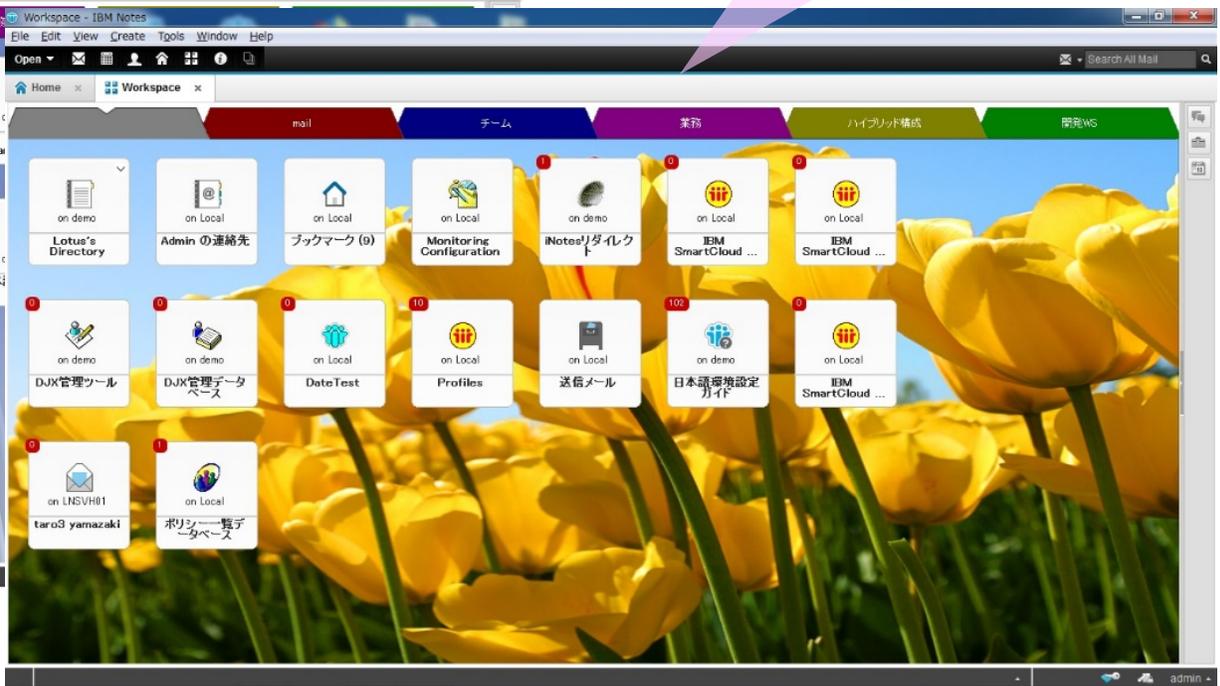
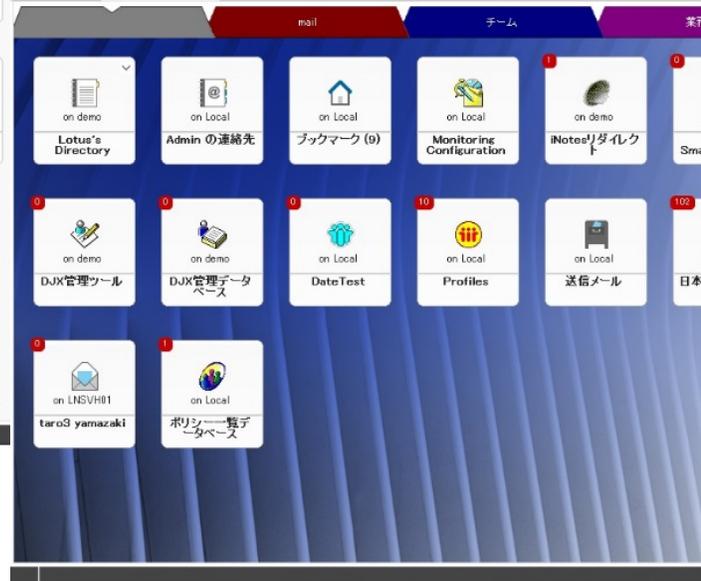
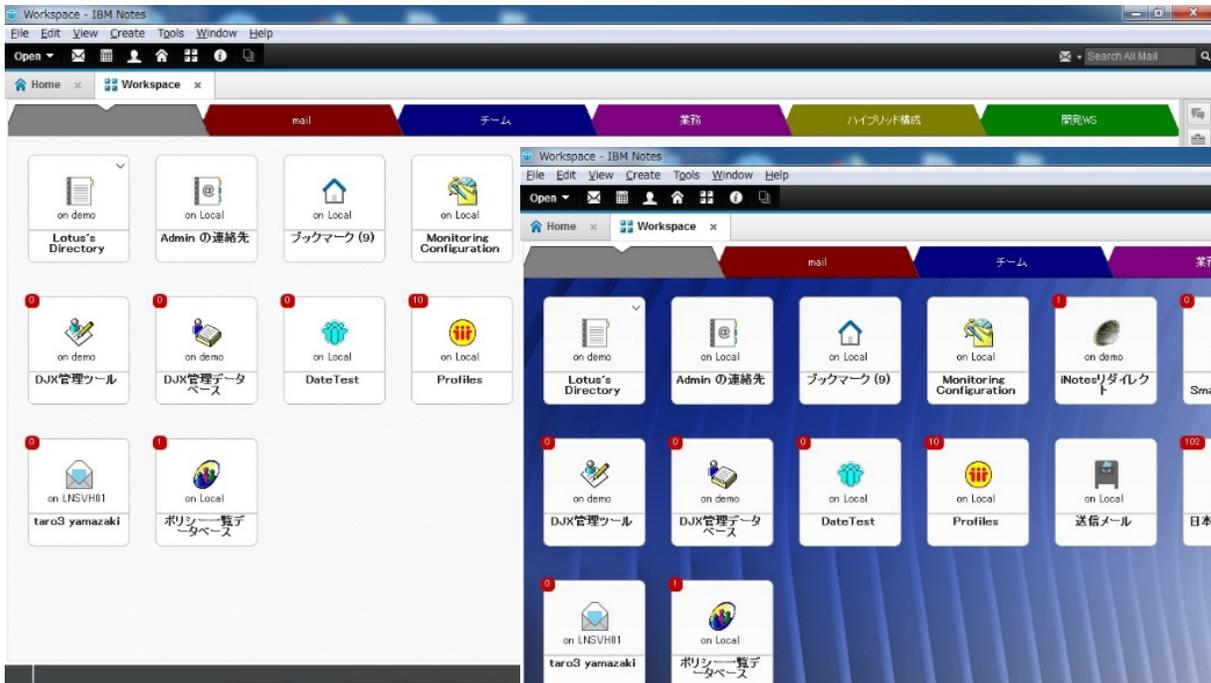
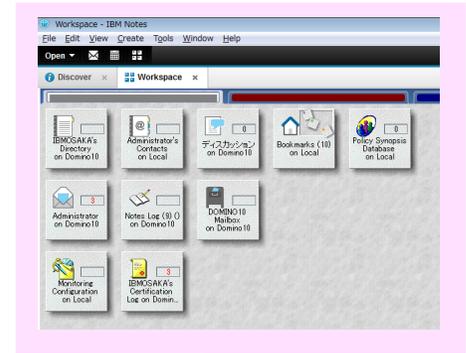
Licensed Materials - Property of IBM Corp. and/or HCL. © Copyright International Business Machines Corporation 1985, 2017. © Copyright HCL Technologies Limited 2018. All rights reserved. IBM, the IBM logo, Lotus and Notes are trademarks of IBM Corporation, registered in many jurisdictions worldwide. Java and all Java-based trademarks and logos are trademarks or registered trademarks of Oracle and/or its affiliates. Built on Eclipse is a trademark of Eclipse Foundation, Inc. This Program is licensed under the terms of the license agreement accompanying the Program. This license agreement may be either located in a Program directory folder or library identified as "License" or "Non_IBM_License", if applicable, or provided as a printed license agreement. Please read this agreement carefully before using the program. By using the Program, you agree to these terms.

BUILT ON
eclipse

java
COMPATIBLE

新しいデザインのワークスペース

※ 従来型のUIも、もちろん使用可能です。



背景なし

デフォルト背景

任意の画像の設定例



メールの送信時刻指定

送信オプション

基本 | 詳細

送信オプション

重要度: 中

送信報告: エラーのみ

送信優先度: 中

受信確認

コピー不可

自動スベルチェック

件名の先頭に「*機密」を付加

不在通知を受信しない

個人グループを展開しない

セキュリティオプション

署名

暗号化

上のセキュリティオプションをデフォルトにする

ムードスタンプ

中

送信延滞期限

2019/02/11 (月) 09:00 Local time

新規 | 返信 | 全員に返信 | 転送 | 表示 | オプション

月曜朝一番に送信するメール

Administrator 宛先: Administrator

メール送信時刻: 2019/02/11 09:00:00

- メール送信時に時間を指定して送信。サーバー側での機能有効化が必要。
- 送信ビューからメールを開くと、送信予定時間が見える。
- iNotes (Webメール画面) には適用されません。

送信オプション

受信確認 コピー不可

送信レポート

エラーのみ

重要度

中

件名の先頭に「*機密」を付加

個人グループを展開表示しない

セキュリティオプション

署名

暗号化

OK キャンセル

送信メールのエラー・警告機能の改善

- ・メール送信「前」にポリシーの内容に沿ったメールのチェックを実施できます。
- ・従来は、送信「後」のチェックしかできませんでした。
- ・iNotes (Webメール画面) には適用されません。

ポリシーによる制御

基本	
レターヘッド	フォローアップ
アテンションインジケータ	
ユーザー設定	
<input checked="" type="checkbox"/> メールファイル所有権の変更をユーザーに許可する	
送信メールのチェック	
送信前にメールをスペルチェックする:	<input type="checkbox"/> はい
メッセージの件名が指定されていない場合に警告する:	<input checked="" type="checkbox"/> はい
前に受信メールメッセージに詳細を表示:	<input type="checkbox"/> はい
ユーザーが受信確認を設定できないようにする:	<input type="checkbox"/> はい
送信メールで受信確認を有効にする:	<input type="checkbox"/> はい
返信/転送時に自動的に元のメールを開く:	<input type="checkbox"/> はい
送信制限の設定:	<input checked="" type="checkbox"/> はい
最大文書サイズ:	100 KB
最大添付ファイル数:	3
添付ファイルの合計最大サイズ:	1000 KB
個々の受信者の最大数:	3
内部ドメイン:	jp.ibm.com

メールサイズのチェック

添付ファイル数 "

添付ファイルサイズ "

外部ドメイン宛先の警告

送信宛先数 "

The screenshot shows the IBM Notes webmail interface with the following error and warning messages:

- エラー: 文書のサイズが 100 KB を超えています (現在の文書のサイズ: 3.21 MB)
- エラー: 添付ファイルの数が多すぎます。添付ファイルを 1 削除してください。
- エラー: 添付ファイルのサイズが 1 MB を超えています (現在の添付ファイルのサイズ: 3.21 MB)
- 警告! 外部受信者を追加しました。| 閉じる
- 警告! 宛先に含まれる個々の受信者名が多すぎます。| 閉じる

The recipient list (宛先) is: Administrator/IBMOSAKA@IBMOSAKA, matusok@jp.ibm.com, asuka@jp.ibm.com.

Other recipients (Cc): ujimoto@us.ibm.com.

Subject (件名): メール送信のチェック機能

Attachments: LotusInstall.log, IBMNotesICAAInstall.log, IBMNotesInstall.log, wureset.bat

※ 日本語化の際の誤訳

- × 閉じる
- 無視する (Dismiss)

- “エラー” : 解消されるまでメール送信が行えない。
- “警告” : 警告のみでメールを送信すること自体は可能。

一部のプリファレンス項目追加やデフォルト値の変更

- キャンセルされた会議を次のように自動処理
 - カレンダーから削除
 - キャンセル項目としてカレンダーに表示

キャンセルされたミーティングは自動で削除ではなく、「キャンセル」と扱う。

メールビューまたはフォルダからカレンダー文書を削除する場合:

削除
 消去または削除の際に確認メッセージを表示
 削除

カレンダーエントリを削除したときの警告を無くす。

ビューとフォルダの管理

- カレンダー、タスク、連絡先のアクセス権のみを持つユーザーによるフォルダへのアクセスを禁止する
- 自分宛に送信されたメールを、他のユーザーが回収することを許可する
- メールを開くときにルールの実行を有効にする【[メール] タブを再度開いたときに有効になります】

既存のメールにもルールを適用する。

受信ボックスで今すぐ実行... すべての文書で今すぐ実行... OK キャンセル

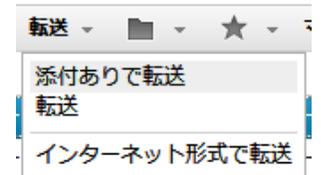
※ 日本語化の際の誤訳

- × メールを開くとき (Exiting Mail)
- 既存のメール (Existing Mail)

eml形式添付でのメール転送機能



- 複数のメールを効率的かつ見やすく転送できます。
- iNotes (Webメール画面) には適用されません。



Windowsタブレットでのタッチスクリーン対応

Windowsタブレット上でNotesを利用する場合に、タッチジェスチャーに対応。



代理アクセス者に連絡先を見せない設定

代理アクセス権限として、連絡先情報を参照させない権限設定が可能になりました。

ユーザー/グループの追加

ユーザーまたはグループ

メールファイルへのアクセス権を与えるユーザーまたはグループ

全員

このユーザーまたはグループのみ: [F]」▼

コンポーネント

アクセス権を与えるメールファイル内のコンポーネント

メール、カレンダー、タスク、連絡先

カレンダー、タスク、連絡先

カレンダーとタスク

なし

アクセス

カレンダーとタスクに対して許可するアクセス権の種類を選択してください

閲覧

V9以前の設定画面

カレンダーでの送信者別色分け表示

- メールビューでの送信者の色分け設定を、カレンダービューでも適用可能になりました。

メール | カレンダーとタスク | アクセス権と代理

基本 | レターヘッド | 署名 | フォローアップ | 送信者の色 | 受信者アイコン | 所属

送信者の色

背景と文字に固有の色を割り当てることにより、受信ボックスで重要な送信者からのメールを見つけやすくします。送信者名では大文字と小文字が区別されません。グループ名はサポートされません。

送信者名 (1つ以上を入力)	背景:	テキスト:
Administrator/IBMOSAKA		

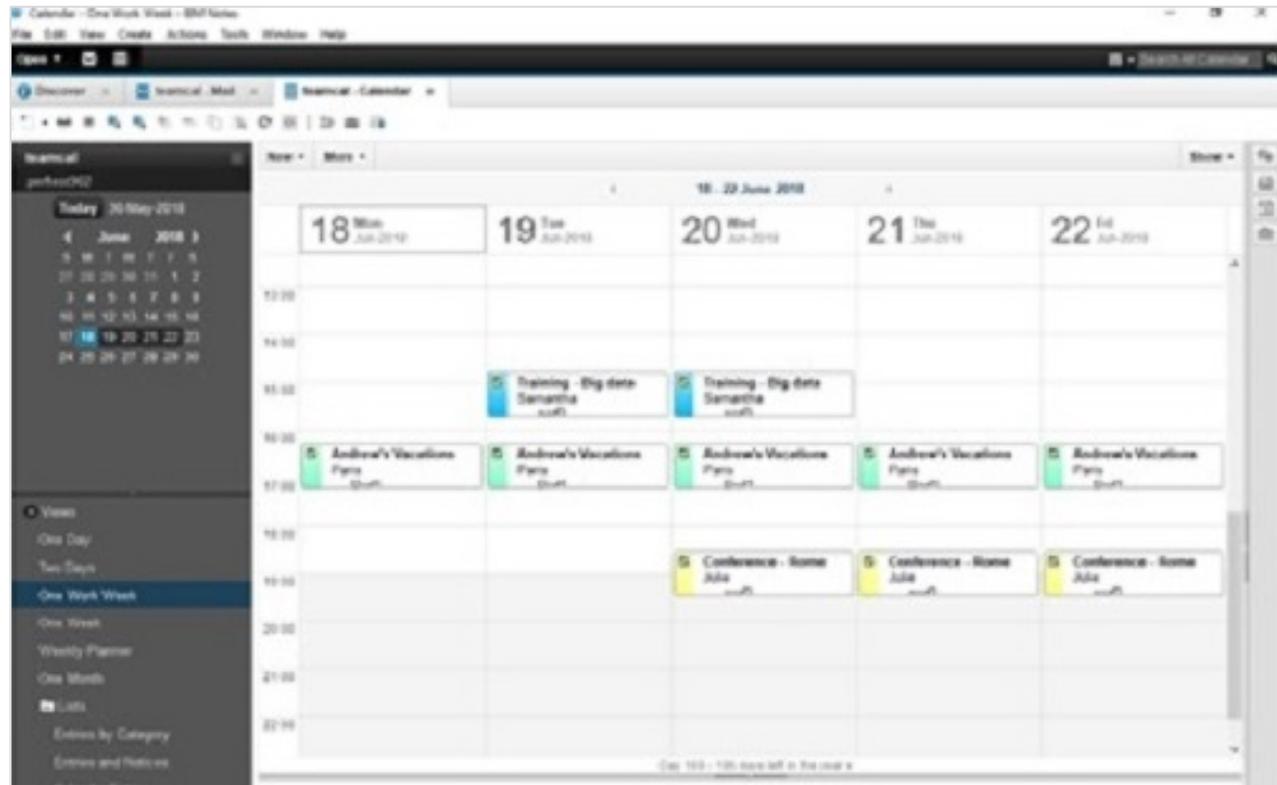
これらのユーザーが議長をつとめる会議にも色を適用する

デフォルト色に戻す

これらのユーザーが議長をつとめる会議にも色を適用する

チームカレンダー（的な機能）

- ・「メール受信データベース」機能を拡張し、チームのイベントを登録・参照するカレンダーとして利用可能になりました。



返信/転送時に利用可能な署名

- 通常の署名とは別に、転送や返信の時だけに使える、2つ目の署名を設定可能。

メール | カレンダーとタスク | アクセス権と代理 |

基本 | レターヘッド | 署名 | フォローアップ | 送信者の色 | 受信者アイコン | 所属 |

送信メールの下に署名を自動的に追加する

新規メール | **返信と転送メール**

返信または転送メールの署名。デフォルトが選択されている場合、新規メールの署名が使用されます。

署名のタイプ:

デフォルト リッチテキスト プレーンテキスト HTML または画像ファイル

テキストの書式設定、画像、その他のリッチテキスト機能を使用する場合は、リッチテキスト署名を使用します。 いったん署名を設定すると、自分が IBM Notes を使用するときのコンピュータでもその署名が表示されます。

テキスト、画像、添付ファイルを追加する場合は、下の「T」コントロールを使用します。

追加のリッチテキスト機能（フォントやリンクなど）を使用する場合は、任意のリッチテキストフィールド（メールの本文など）で署名を作成し、それをコピーして貼り付けます。

注: リッチテキスト署名は、このメールファイルのすべてのユーザーが IBM Notes 8.5 以降を使用している場合のみ機能します。

T

添付ファイル索引機能の実装の変更

■ Notes Standard版 および Dominoサーバー

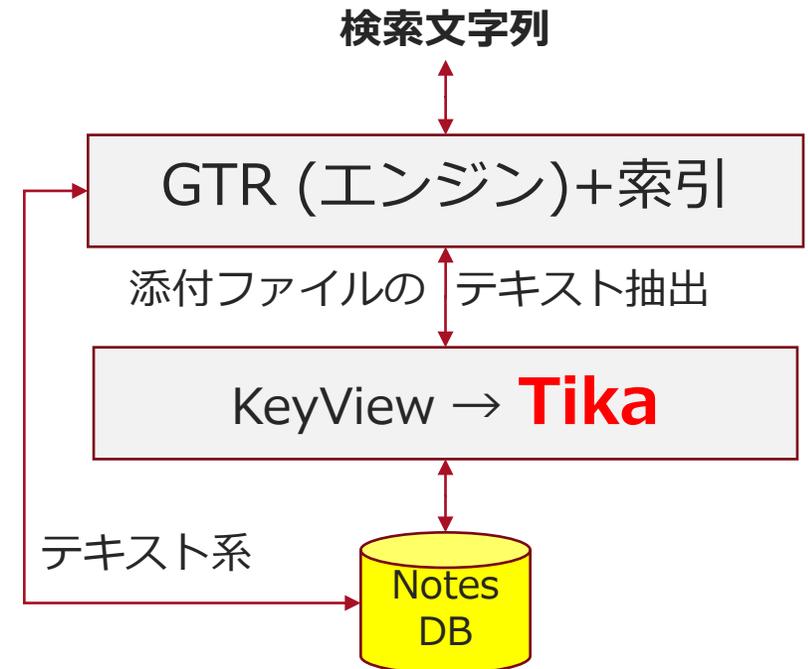
→ テキスト抽出フィルタが「KeyView」から「Apache Tika 1.18」へ変更。

- 従来の**KeyViewフィルタ**（ファイルビューアとテキスト抽出コンポーネント）関係のモジュールは、添付のプレビューの為だけに残存。
- 検索要求時、未索引文書があれば即座に索引作成を行う。（但し200文書以下）
- **Apache Tika**自体の実装仕様に影響されることに注意。
 - テキストファイルはUTF-8のみ対応。
 - 特定のhttpポートを内部的に使用。など

■ Notes Basic版

→ 従来どおり、ローカルのDBはKeyViewでテキスト化。

- Apache TikaフィルタはStandard版のみで有効。
- 但しサーバー上のDBはStandard版と同様。（Tikaによるテキスト化）



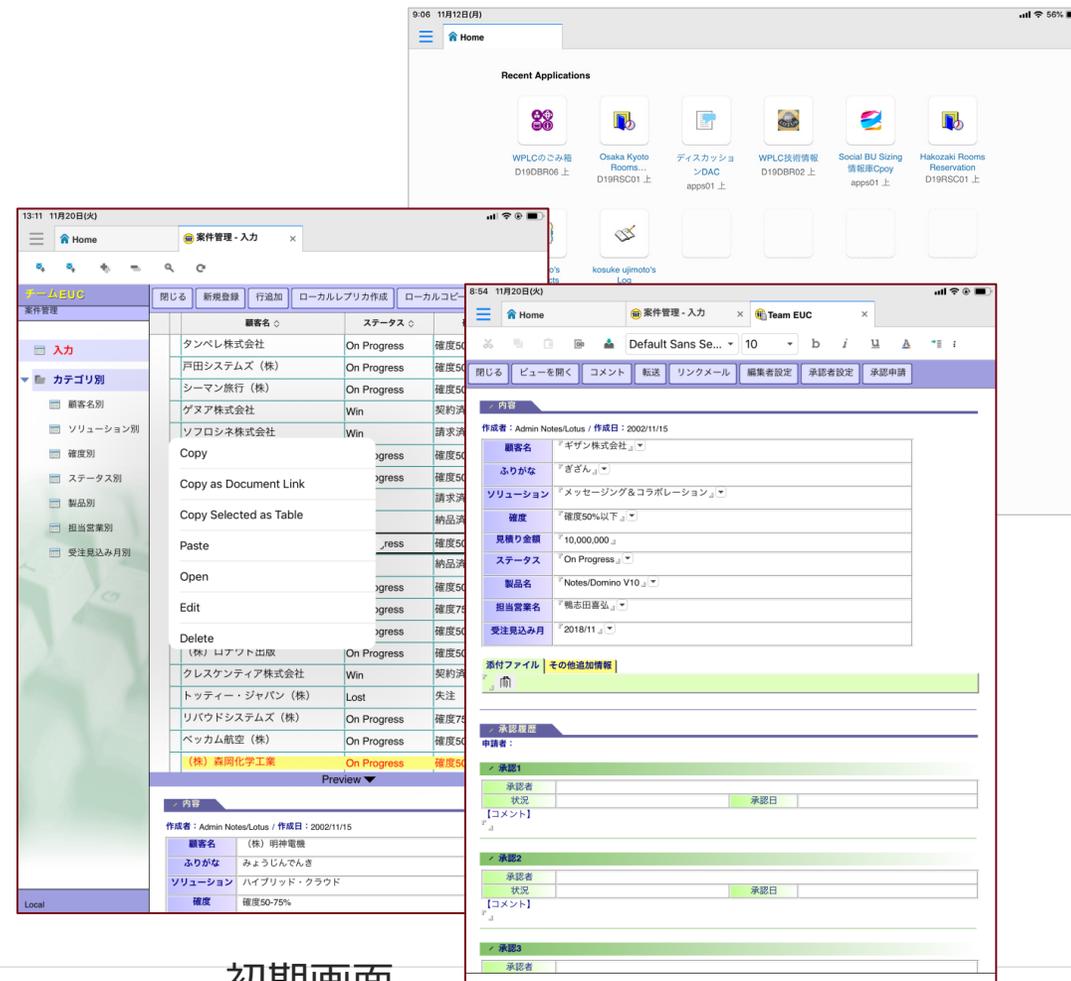
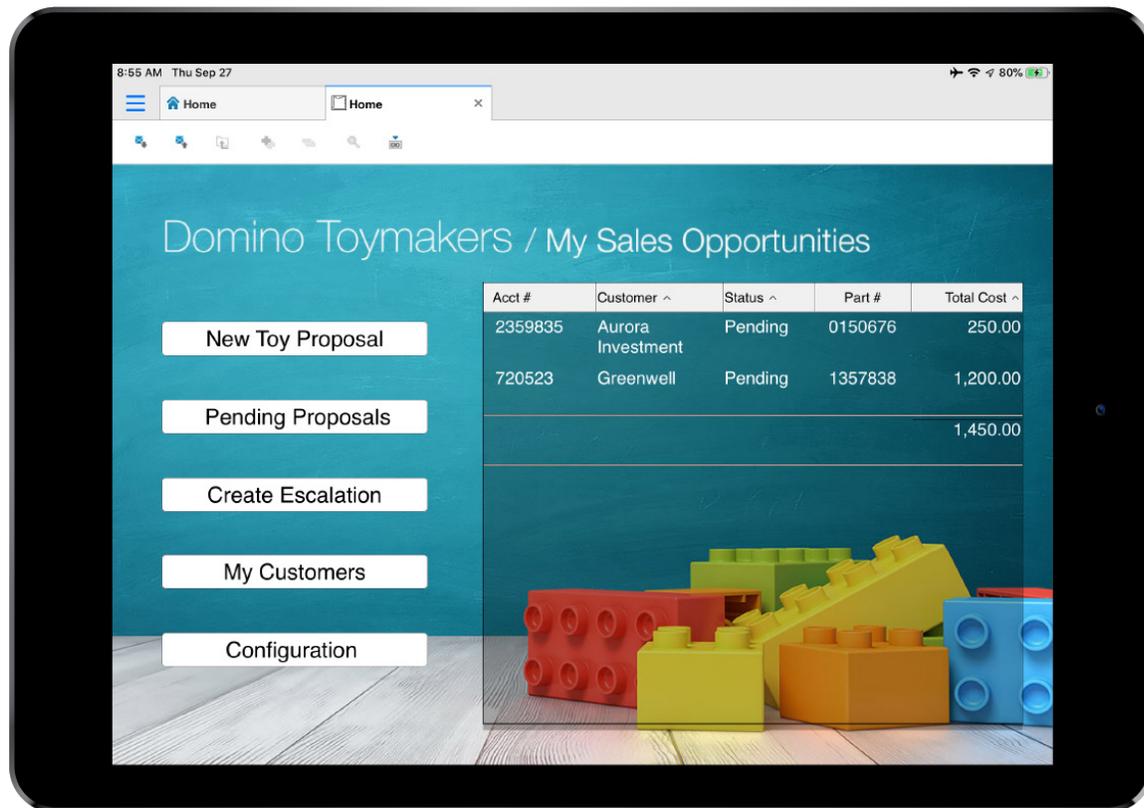
Notes V10 主な新機能一覧

機能	概要
カスタム・カラーテーマ	プリファレンスのテーマ設定で、カスタマイズテーマの指定が可能。
アプリケーションUIの向上	日付ピッカーとボタンの表示を新しく。
フォントスタイル・プレビュー	フォント選択画面上の表示をそれぞれのフォントで表示。
Windowsタブレットでのタッチスクリーン対応	Windowsタブレットのタッチジェスチャーに対応。
メールナビゲーターの省略	メールのナビゲータ部分を省略表示可能。
クイックコンタクト	個人アドレス帳のアドレス作成画面として、簡易登録可能な画面（クイックコンタクト）を選択可能。
メール送信者別ビュー	メールDBに送信者別ビューを追加。
返信/転送時に利用可能な署名	転送や返信の時だけに使える、2つ目の署名を設定可能。
ジャンクメールの送信者のリストサイズの増加	ジャンクメールの送信者リストに利用できる領域が、以前から約10倍となる300KBに増加。このリストの検索も可能に。
NotesクライアントからのSTARTTLSサポート	IBM Notesクライアント上でSMTPアカウントを利用する際にSTARTTLSを有効化することが可能。

機能	概要
より多くのメールフォルダを1度にアップグレード	これまで1度にアップグレード出来るフォルダ設計は32KBまでだったが、300KBまで増加。
代理アクセス者に連絡先を見せない	代理アクセスの選択肢で、連絡先を含めないオプションを提供。
代理権限でのメールアーカイブ	削除権限付き編集者権限の代理アクセスのユーザーが、メールをアーカイブ出来る。
カレンダーでの送信者色分け表示	送信者の色分け設定をカレンダービューでも適用表示可能。
会議情報コピー時にオンライン会議の情報をコピー	[コピーを追加] -> [カレンダーエントリ] -> [会議] で会議情報をコピーした場合、オンライン会議の情報もコピー。
カレンダーのカテゴリと色を同時に設定	プリファレンスの[カレンダーとタスク] -> [色] -> [カテゴリの色] 設定画面で、新規カテゴリの追加が可能。
チームカレンダー	メール受信データベースをチームのイベントを登録・参照するカレンダーとして利用可能。

(参考) Domino Mobile Apps

既存のNSFを iPad上で設計変更なしに実行可能にする、iPadアプリケーション。



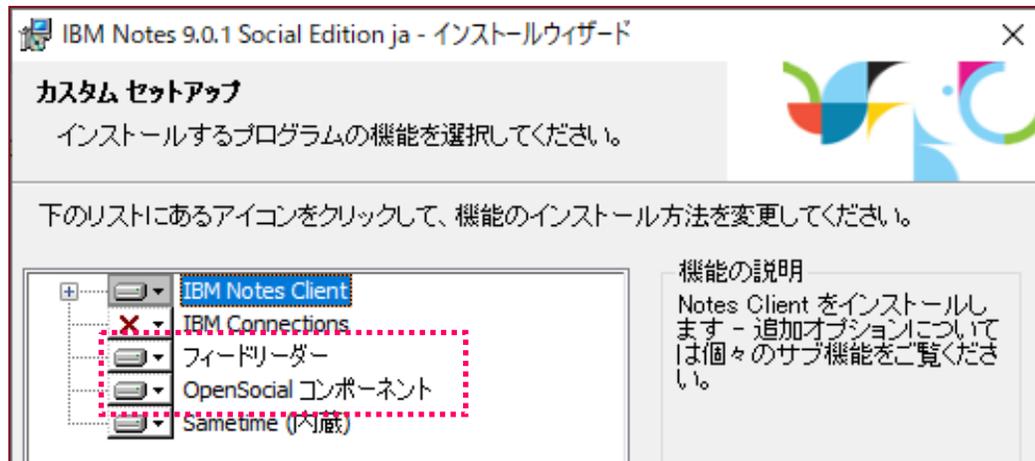
初期画面

バージョン10で消えたもの・・・

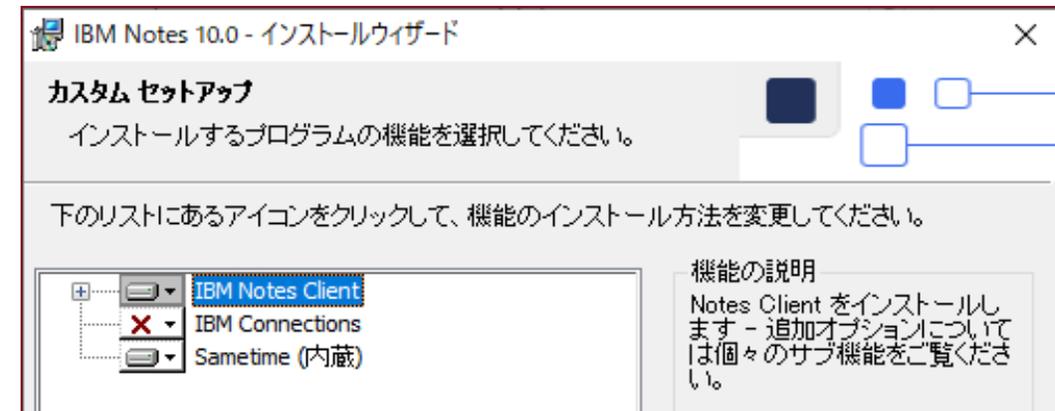
バージョン10 で消えたもの

- OpenSocialコンポーネントと、サイドバーのRSSフィードリーダー。

Notes 9



Notes 10



バージョン10 で消えたもの

■ インポート/エクスポート・ファイル・フィルターの一部。

- Lotus 1-2-3
- Lotus Symphony など

※ V10.0で抜けた一部のMS Office (97-2003) 系フィルタは、V10.0.1で復活しています。

■ DOLS (Domino Off-Line Service)

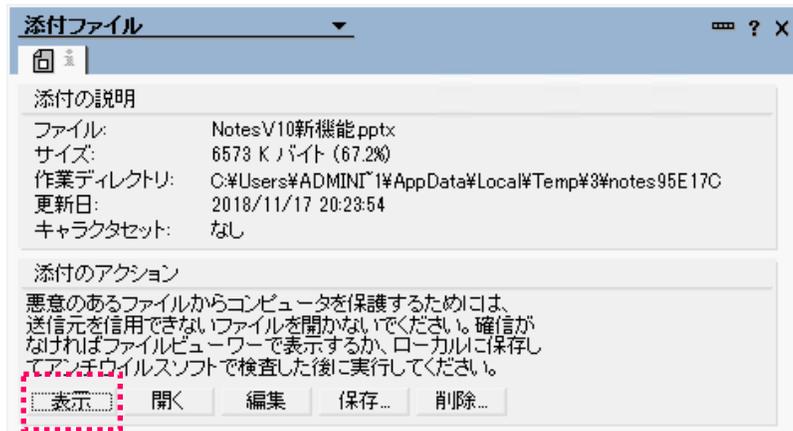
Domino のサブセットをローカルPCにインストールし、オフラインでもローカルレプリカをブラウザからアクセス可能にする機能。R5 (1990年) で追加。

(参考) バージョン10.0.1 で復活したものの

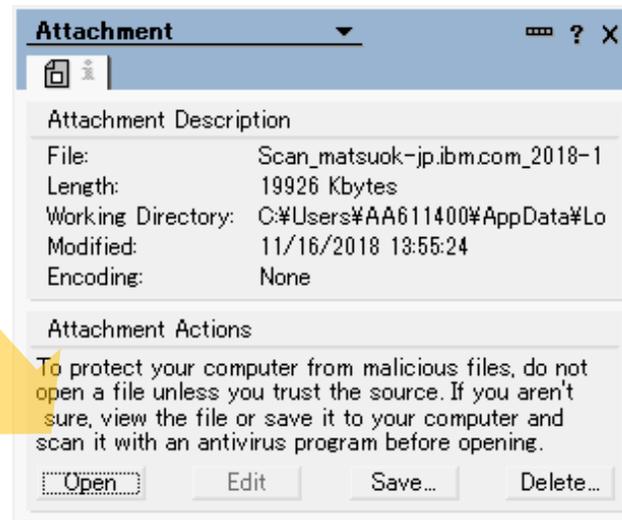
- 内蔵添付ファイルビューアー（KeyViewのビューアー機能）が一時的に消えました。

※ 修正されていないV10関連資料がまだ多いのでご注意ください。

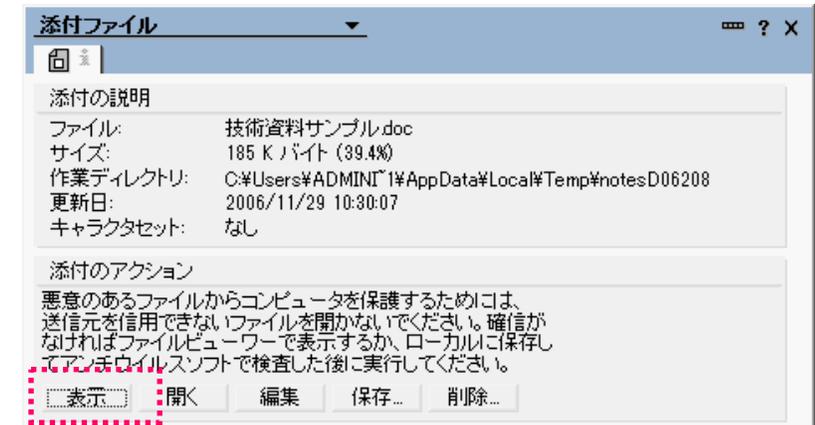
Notes 9



Notes 10



Notes 10.0.1



Domino 10 の新機能

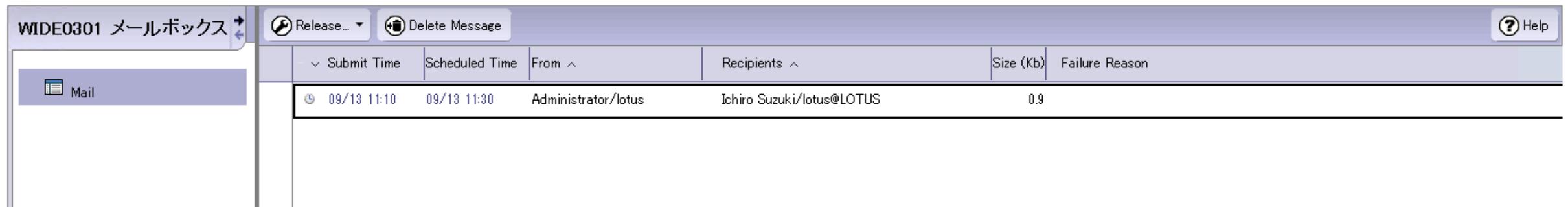
Domino V10 新機能

- Notesクライアントの制御
- データベース制限値の大幅な制限緩和
- クラスタ、複製、データベース保守の新機能
- 運用管理機能の強化
- セキュリティ機能の強化
- アプリ開発の新機能 と 新サポートプラットフォーム

Notes クライアントの制御

メールのスケジュール送信設定

- **Domino 10 サーバーから送信される全てのメールに指定可能**
 - サーバー設定文書: 「ルーター/SMTP」 > 「制限と制御」 > 「転送制御」。
 - サーバーmail.boxで、指定時間まで保持される。
 - \$SendAt アイテムを、カスタム・テンプレートなどに追加して利用可能。
- **Notes 10 及び メールテンプレートにより、個人のメールで利用可能**
 - メールポリシー設定で有効化。



The screenshot shows a Domino mail interface for a mailbox named 'WIDE0301 メールボックス'. The interface includes a 'Mail' folder icon and a table of scheduled messages. The table has columns for 'Submit Time', 'Scheduled Time', 'From', 'Recipients', 'Size (Kb)', and 'Failure Reason'. A single message is listed with a submit time of 09/13 11:10, a scheduled time of 09/13 11:30, sent from Administrator/lotus to Ichiro Suzuki/lotus@LOTUS, with a size of 0.9 Kb and no failure reason.

Submit Time	Scheduled Time	From	Recipients	Size (Kb)	Failure Reason
09/13 11:10	09/13 11:30	Administrator/lotus	Ichiro Suzuki/lotus@LOTUS	0.9	

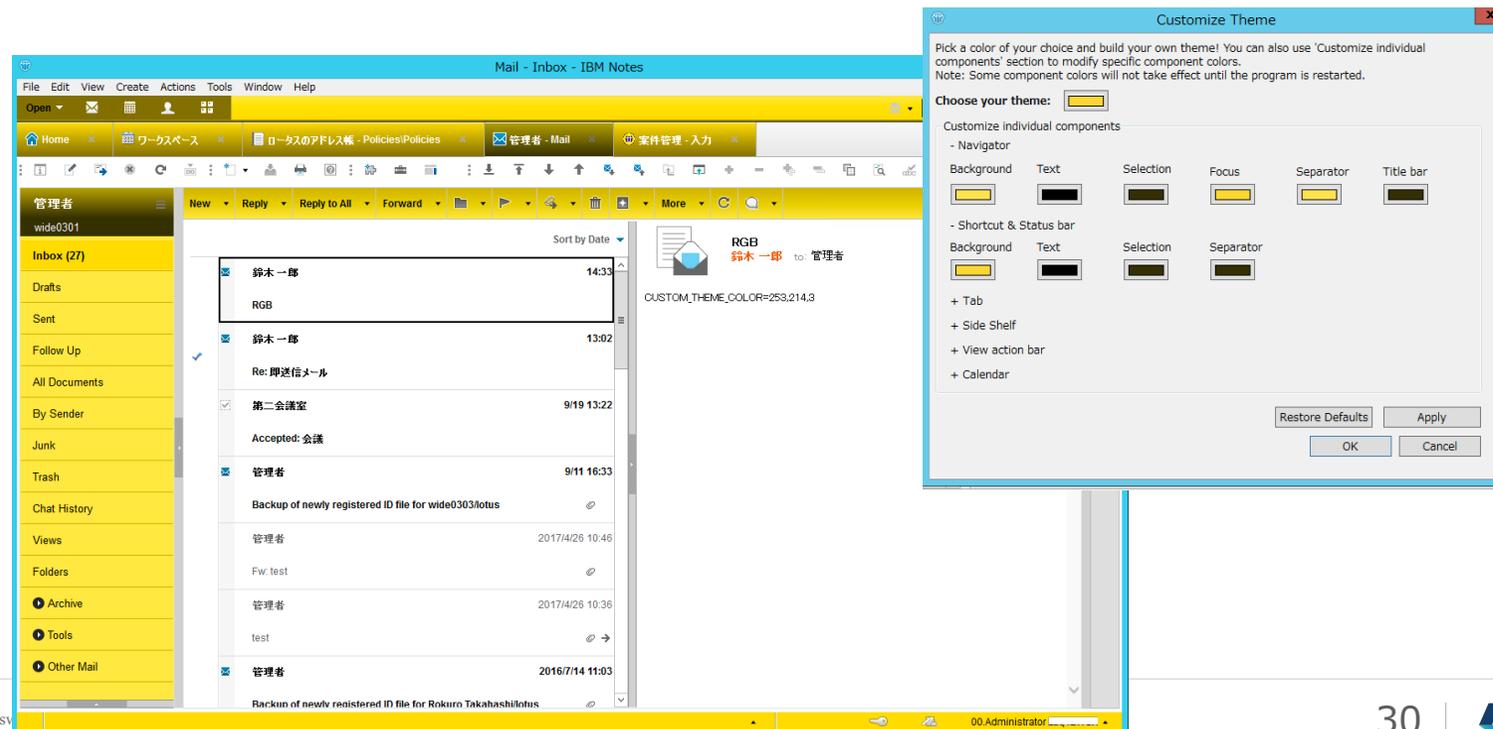
メール送信時の各種制限設定

- Notes 10 及び メールテンプレートにより、個人のメールで利用可能。
 - メールポリシー設定で有効化。
- 設定可能な制限
 - メールの文書サイズ
 - 添付ファイル数
 - 添付ファイルの合計サイズ
 - 宛先数
 - 内部として扱うインターネットドメイン
(外部宛が含まれた場合警告)

送信メールのチェック	
送信前にメールをスペルチェックする:	<input type="checkbox"/> はい
メッセージの件名が指定されていない場合に警告する:	<input checked="" type="checkbox"/> はい
常に受信メールメッセージに詳細を表示	<input type="checkbox"/> はい
ユーザーが受信確認を設定できないようにする:	<input type="checkbox"/> はい
送信メールで受信確認を有効にする:	<input type="checkbox"/> はい
返信/転送時に自動的に元のメールを開じる:	<input type="checkbox"/> はい
送信制限の設定:	<input checked="" type="checkbox"/> はい
最大文書サイズ:	100 KB
最大添付ファイル数:	3
添付ファイルの合計最大サイズ:	1000 KB
個々の受信者の最大数:	3
内部ドメイン:	jp.ibm.com

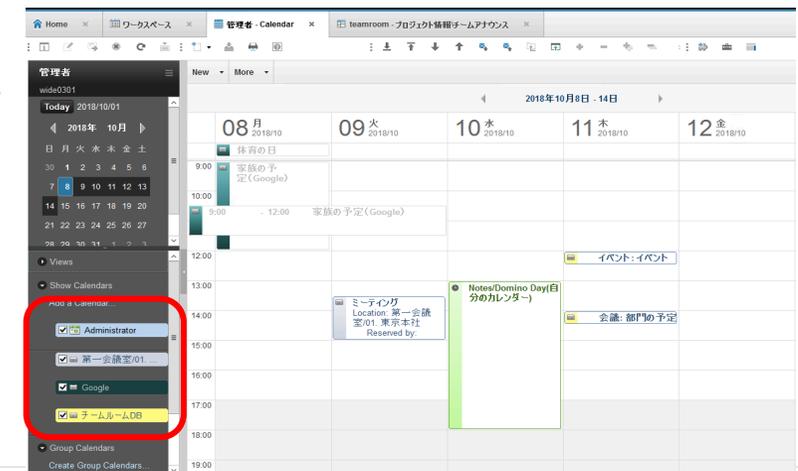
Notes クライアント テーマ・カラーの設定

- Notesクライアントのプリファレンスでテーマ色を設定可能。
- デスクトップポリシー設定経由で、各クライアントの notes.ini に設定配布。
 - 例 : CUSTOM_THEME_COLOR=253, 214, 3
 - RGB値を指定。



オーバーレイするカレンダーの設定

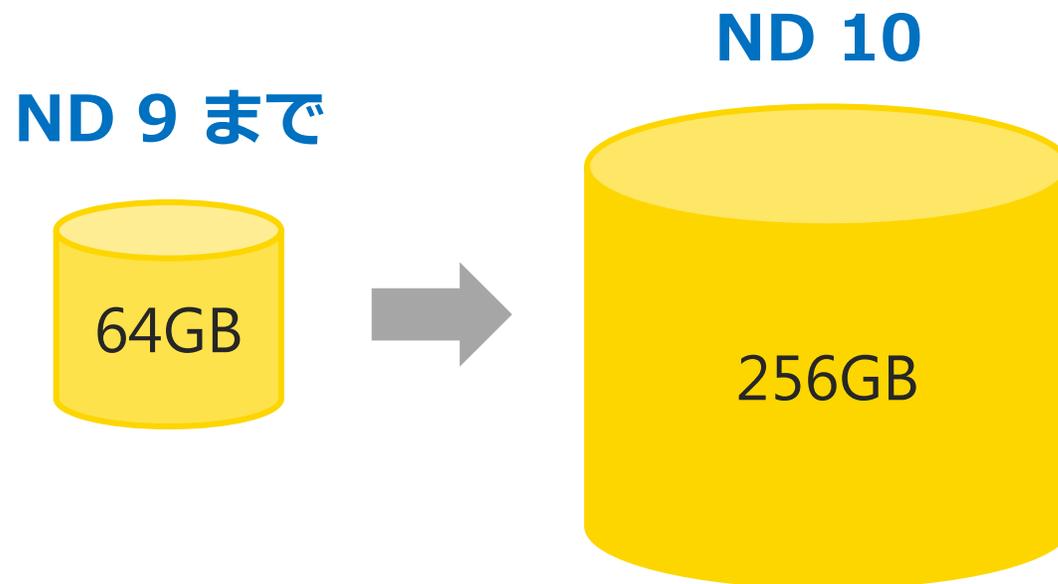
- 各自のNotesカレンダーに、オーバーレイするカレンダーをプッシュ可能。
- デスクトップポリシー設定経由で、各クライアントの notes.ini に設定配布。
 - AddCalendarURL
 - https://calendar.google.com/calendar
 - https://calendar.google.com/calendar/embed?src=test%40gmail.com
 - https://calendar.google.com/calendar/ical/test%40gmail.com/public/basic.ics
 - notes://<server name>/<db name> など
 - FeedRefreshInterval
- デフォルト 3600秒（1時間）
 - ユーザーが初回にカレンダーを開いた際に設定画面が開く。



データベース制限値の大幅な緩和

1 データベースあたりの最大容量を 256 GBに

- ODS 53が前提。（デフォルトはODS 52）
- Notes 10クライアント / Domino 10サーバー以上が対象。
 - Notes 9の場合は、64GB以内のみ問題なく利用可能。
 - Domino 9 以下のサーバーへの複製は、64GB以下の場合に可能。



データベース	
サイズ	サイズ: 8,192 KB 文書: 5
動作	作成日: 2018/12/05 14:46:13 更新日: 2019/02/08 12:01:30
レプリカ ID:	4925835A:001FB288
ODS バージョン:	53

その他 既存の制限値を大幅に緩和

データベースの最大サイズ

64GB

256GB

サマリーデータ

Ipsa facto lorem

Contrary to popular belief, Lorem Ipsum is not simply random text. It has roots in a piece of classical Latin literature from 45 BC, making it over 2000 years old. Richard McClintock, a Latin professor at Hampden-Sydney College in Virginia, looked up one of the more obscure Latin words, consectetur, from a Lorem Ipsum passage, and going through the cites of the word in classical literature,

64KB

discovered the undoubtable source. Lorem Ipsum comes from sections 1.10.32 and 1.10.33 of "de Finibus Bonorum et Malorum" (The Extremes of Good and Evil) by Cicero, written in 45 BC. This book is a treatise on the theory of ethics, very popular during the Renaissance. The first line of Lorem Ipsum, "Lorem ipsum dolor sit amet..", comes from a line in section 1.10.32

16MB

※ 但し、1フィールドのサイズ上限は32K Byteのまま。

※参考

Increase the document summary data limit to 16 MB

https://www.ibm.com/support/knowledgecenter/ja/SSKTMJ_10.0.0/admin/admn_increase_document_summary_data_limit.html

Table of Notes and Domino known limits

https://www.ibm.com/support/knowledgecenter/ja/SSVRGU_10.0.1/basic/H_NOTES_AND_DOMINO_KNOWN_LIMITS.html

**クラスタ、複製、
データベース保守の新機能**

「対称」な Domino クラスタ (シンメトリック・クラスタ)

クラスタ間のnsfを同期し、欠損/破損したnsfを検知し、自動補完する機能。

- クラスタリングの設定で「対称」とするディレクトリを指定。
- “Repair”サービスがクラスタ間で対象のディレクトリ内を同一に保持。
 - .nsf ファイルと DAOS .nlo ファイルを自動修復。
(自動修復するかログに残すのみかを設定)
 - 破損したファイル、紛失したファイルがあれば、適切なクラスタメンバーからデータを自動的にコピーして修復。
 - Domino 10サーバー以上、ODS 52以上が前提。
 - ルートのDomino data ディレクトリは対象外。
 - AutoRepair タスクを起動。

クラスタ構成

基本 シンメトリック チューニング 管理

シンメトリックの管理: すべてのフォルダ
 指定したフォルダ

フォルダ: 選択なし

自動修復: 不明なファイルの修正
 ログ内の破損ファイルまたは不明なファイルのリスト化
 無効

スキャン間隔: 分

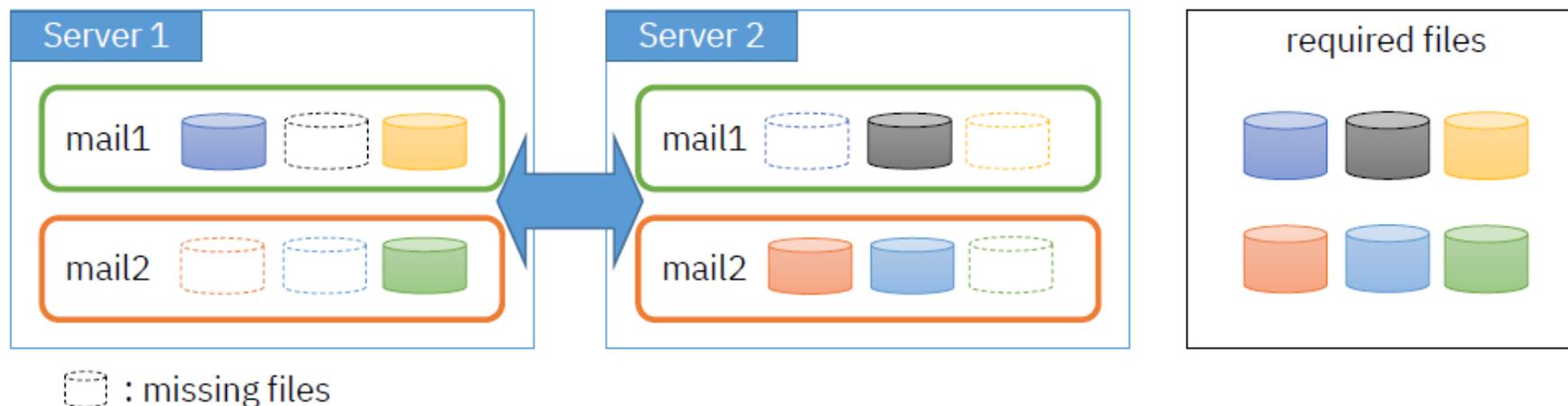
破損ファイル: 破損ファイルの修正
 無効

破損ファイルを削除するまでの時間: 日

「対称」な Domino クラスターの動作

■ “Repair”サービスにより、定期的に欠損データベースの有無がチェックされ自動的に修復。

- データベース使用中でも破損を検出。
- サーバー間のファイルの高速転送。
- 必要な DAOS オブジェクトを自動的に修復。暗号化にも対応。
- 最新の複製を正しく反映するように複製履歴を調整。
- 必要に応じて全文検索の索引を再構築
- 修復前のnsfはバックアップした後、指定日数後に自動消去。



クラスター複製機能の改善 (SCR : Streaming Cluster Replication)

■ SCR : Domino 8における新機能

- 以前と比べて、より高速で効率的なクラスター複製が実行されるメソッド。

■ Domino 10 による改善

- SCRは、頻繁に複製状態のチェックポイントをディスクに作成
 - サーバー停止時にも、チェックポイントが保持され、再起動時に利用。
- SCR は、複製先サーバーが停止していても、複製キューを一定時間保持
 - クラスター・メンバーの再起動に対する許容度が高くなり、複製の遅延を抑制。

高負荷なビューを自動更新

■ Domino 10は、頻繁に更新が発生するビューを動的に特定し更新を実施

- ユーザーは、最新の状況に保たれたビューをクイックに利用可能。
- 「高負荷」なビューは、管理者が推測・追跡する必要がなく、動的にリアルタイムで更新。

■ notes.ini のパラメータを有効化

- NIF_VIEW_USAGE_ENABLED=1

show stat コマンドで統計情報の確認可能

Disk I/O の増加に要注意

```
[OB14:000E-1724] Database.ViewUsage.Calls = 78
[OB14:000E-1724] Database.ViewUsage.HighUsageCurrent = 5
[OB14:000E-1724] Database.ViewUsage.HighUsageDisables = 0
[OB14:000E-1724] Database.ViewUsage.HighUsageEnables = 5
[OB14:000E-1724] Database.ViewUsage.HighUsageUpdateChecks = 653
[OB14:000E-1724] Database.ViewUsage.HighUsageUpdates = 23
[OB14:000E-1724] Database.ViewUsage.Skipped = 0
```

全文検索機能の強化

■ 検索時の索引の更新

- ほぼ常に、最新の検索結果を取得。
- 検索実行の直前に、最大200文書の未索引文書への索引付けを自動実行。
- 200文書を超える索引付けが必要な場合、瞬時に対処するために更新要求をキューに追加。

■ 添付ファイルの索引付けの改善

- KeyViewフィルターをApache Tikaに置き換え、テキストをより正確に抽出可能に。

■ 破損時の索引の自動再作成

- 索引付けまたは検索中に破損が検出された際、自動的に索引を再構築。

■ クラッシュの再発防止

- 全文検索や更新に関連するクラッシュに対する、回復力に効果。
- 繰り返しクラッシュを引き起こす文書があれば、分離・回避。

運用管理機能の強化

文書の削除ログの取得

- アプリケーションからの文書の削除をログとして記録可能に。
 - トランザクションログの有効化が前提。
 - IBM_TECHNICAL_SUPPORTディレクトリにdelete.logファイルを生成。
 - **load compact <database> -dl on <フィールド名 (コンマ区切り) >**
 - 日時、DB名、レプリカID、削除実行プロセス、削除実行ID、削除種類、文書クラス、文書UNID、指定されたフィールド名、その値、、、などが出力可能。

```
>  
> load compact demo¥teameucdemo -dl on "ACont,BCont"
```

ログ出力例 :

```
"20180913T173208,43+09","demo¥teameucdemo.nsf","49256C69:00339C12","nserver","C  
N=Administrator/O=lotus","HARD","0001","49337354:97B6F1F549256C72:0037CC58","ACo  
nt","エルミア株式会社","BCont","えるみにあ"
```

配信不能メール (デッドメール) の自動処理オプション

- メール送信が失敗した場合、メール・ルーターは定期的アカウントへの配信/転送を再試行。
- 再試行回数および再試行間隔は設定可能。
 - 再試行回数を超えると、配信不能メールは mail.box から削除。
- サーバー設定文書で設定。

基本	セキュリティ	クライアントのアップグレード	LDAP	ルーター/SMTP
基本情報	拡張と制御...	メールの特記事項	トラッキング	メール回収
ジャーナリング	コマンドと拡張	制御		
その他の制御				
ログ詳細度:		『中』		
不在通知の実行:		『エージェント』		
詳細転送設定				
メールの優先度を無視する:		『無効』		
動的なコストのリセット間隔:		60	分	
配信できないメール				
配信できないメールの保持:		『無効』		
送信無効メールの自動処理:		『有効』		
許可された送信無効メールの配信の試行:		12		
送信無効メールの配信を試行する間隔:		360	分	
内部インターネットドメイン:		『』		

Domino 統計情報の書き出し

- Dominoサーバー自身がHTTP POSTでサーバーの統計情報を外部に書き出すことにより、サーバー状況のリアルタイムモニターを容易にする。
- 「New Relic」については、専用のパラメータをnotes.iniに用意。
 - NEWRELIC_LICENSE_KEY=<key> のみ。
 - New Relicサイトにサインアップして取得したキーを設定。
- Domino 統計情報のすべての数値は 1分に1回 POST。
 - 自動的に共通カウンターのレート・メトリックを計算して送信例: Mail.TotalRouted → Delta/Mail.TotalRouted (毎分配信されるメール)

New RelicサービスへのDomino統計情報を書き出し

Overview

Notes Server (NRPC)

HTTP Server

IMAP Server

POP3 Server

SMTP Server

Mail

Directory

Replication

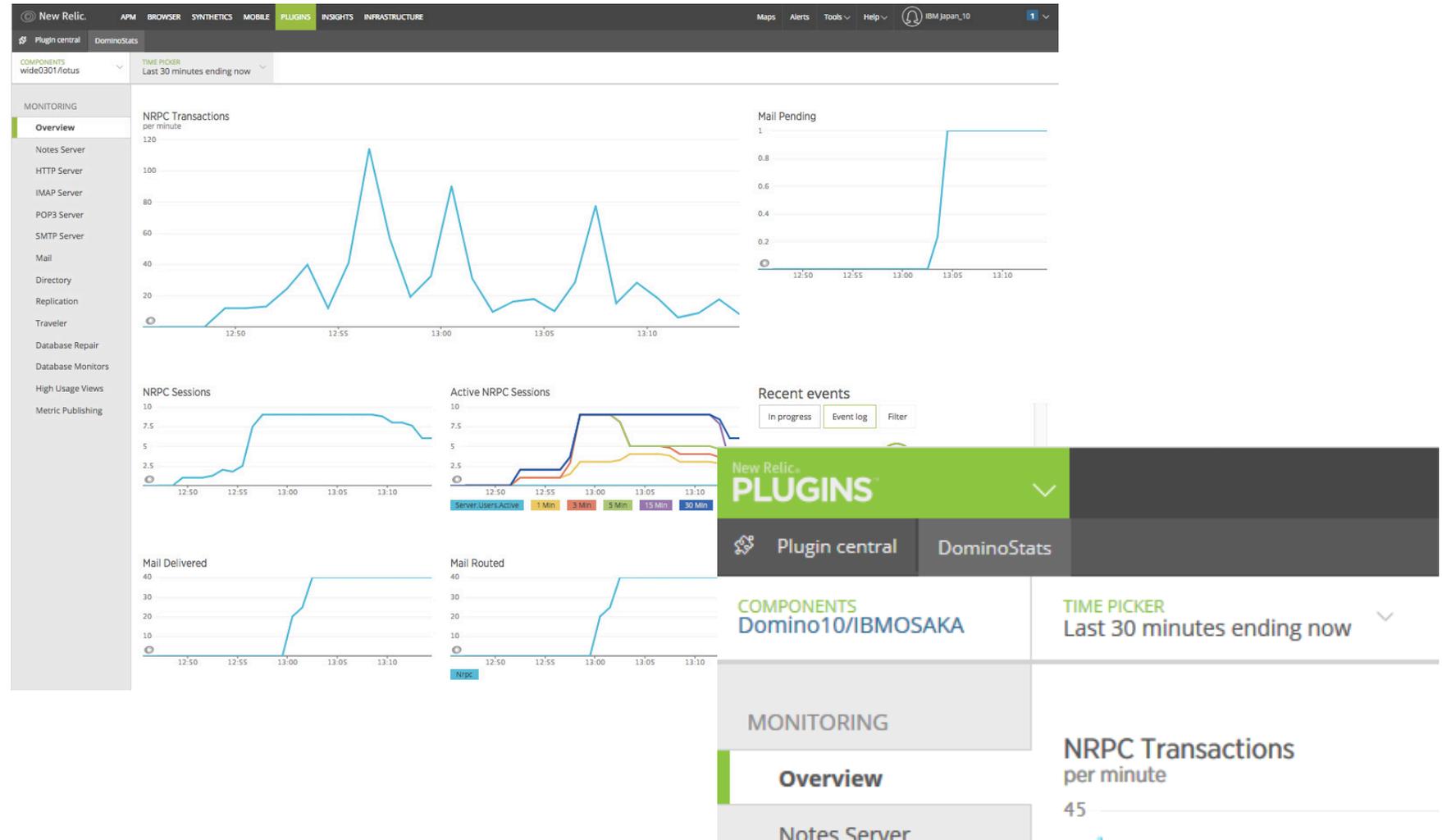
Traveler

Database Repair

Database Monitors

High Usage Views

Metric Publishing



セキュリティ機能の強化

SAMLによるシングル・サイン・オンの機能拡張

■ サポート対象の IdP とフローの追加。

- ADFS 4.0 を新たにサポート。
- SAML 2.0 準拠IdPをサポート。
 - ADFS / TFIM 以外についてもサポート対象リストに順次追加。
- サービス・プロバイダー側から起動する認証フローをサポート
 - 従来の、最初に IdP側にログインするフローのほか、先に Domino にアクセスして IdP にリダイレクトさせるフローをサポート。

Identity Provider (IdP) : 認証情報を**提供**する側
Service Provider (SP) : 認証情報を**利用**する側

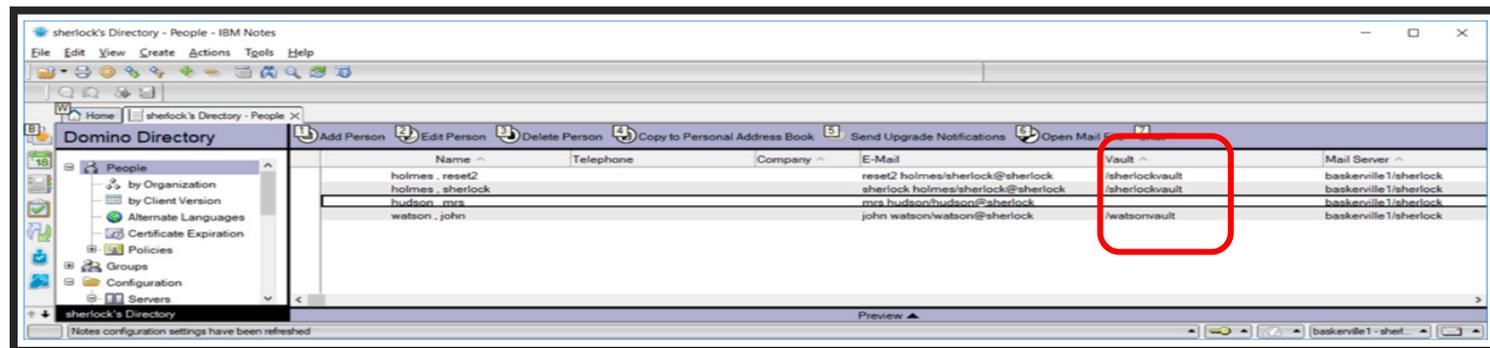
ID ボールト 機能の強化

■ パスワード変更時の ID ボールトアーカイブと再同期

- 以前は、ユーザーが古いパスワードで古い ID ファイルを使用した場合、NotesクライアントとID ボールトのパスワードが異なり、同期が停止していた。
- Domino 10では、上記状態で7日間経過するとボールト内のIDがアーカイブされ (名前変更され)、使用中の現行IDをボールトに自動収集し、同期を再始動。

■ ID ボールトのスキャン

- load qvault コマンドで、ボールト名とボールトの最終同期日時を収集
- Dominoディレクトリのユーザー文書に上記情報を更新



アクティブ・コンテンツフィルタの強化

■ アクティブ・コンテンツフィルタのホワイトリストをサポート

- 文書を開いたタイミングで実行されるコード、など、潜在的に危険な可能性のあるHTMLメッセージ（JavaScriptなど）をフィルタする。
- これまではブラックリスト型のサポート。（Domino 10もデフォルトはブラックリスト型）
 - iNotes_WA_DisableActCntSecurity=1 がある場合は無効化されている。
- iNotes および Verseメッセージに対して適用可能。

■ Notes.iniパラメータで設定

- DOMINO_ENABLE_WHITELIST_ACF=1
- 個々のユーザーでブラックリストかホワイトリストか、を選択することが可能。
 - <mailfile_url>?OpenDatabase&whitelist-acf=0

アプリ開発の新機能と 新サポートプラットフォーム

LotusScriptへ新しいクラスの追加

■ NotesHTTPRequest

- LotusScript から REST API経由で 外部データを読み書き (GET, PUT, POST) 可能に。
- 以前は Javaエージェントが必要だったものをLotusScriptから利用可能になった。
→ 例えばフロントエンドのホットスポットボタンからも呼び出し可能

■ NotesJSON***

- REST API で利用する JSON形式のデータを扱うクラス群。

たとえば・・・

- Notes/Domino から IBM Watson APIの利用。
- 他システムからDomino アプリケーションへのデータ移行。

DQL (Domino Query Language)

■ アプリケーション内からDominoデータの取得時に、クエリ構文を利用可能に。

■ LotusScript, Java 及び domino-db Node.js APIで利用可能。

■ 例

- 「"order_no" フィールドの値が 146751 を超えて 150111 以内の文書」

order_no > 146751 and order_no <= 150111

- 「"sales_person" フィールドの値が " 内の4名のいずれかを含む文書」

sales_person in ('Chad Keighley', 'Jeff Chantel', 'Louis Cawlfild', 'Mariel Nathanson')

- 「"date_origin" フィールドの値が日本時間10月10日10:00.00 以降の文書」

date_origin > @dt('20181010T100000+0900')

- 「"Orders" ビューの "order_type" 列の値が Phone の文書」

'Orders'.order_type = 'Phone'

JavaScript技術者がクエリー構文でDominoにアクセス

- Node.jsとクエリー構文のスキルがあれば、
Dominoデータを Webアプリから読み書き可能に

Domino Toyworks

new

Name	Updated	Desc
Chicago Toys	2018-09-26	Endcap damaged; need replacement
Chicago Toys	2018-09-26	order processing request
Chicago Toys	2018-09-26	update delivery address
Greenwell	2018-09-26	wrong items received
Jouets Amusants	2018-09-26	order history inquiry
Jugetes Divertidos	2018-09-26	Incomplete order received
Zeitgeist Toys	2018-09-26	backorder inquiry

Details

Description: Endcap damaged; need replacement

Caller: Bud Richman

Impact: 3 - Low

Urgency: 3 - Low

Priority: 5 - Planning

Related information:

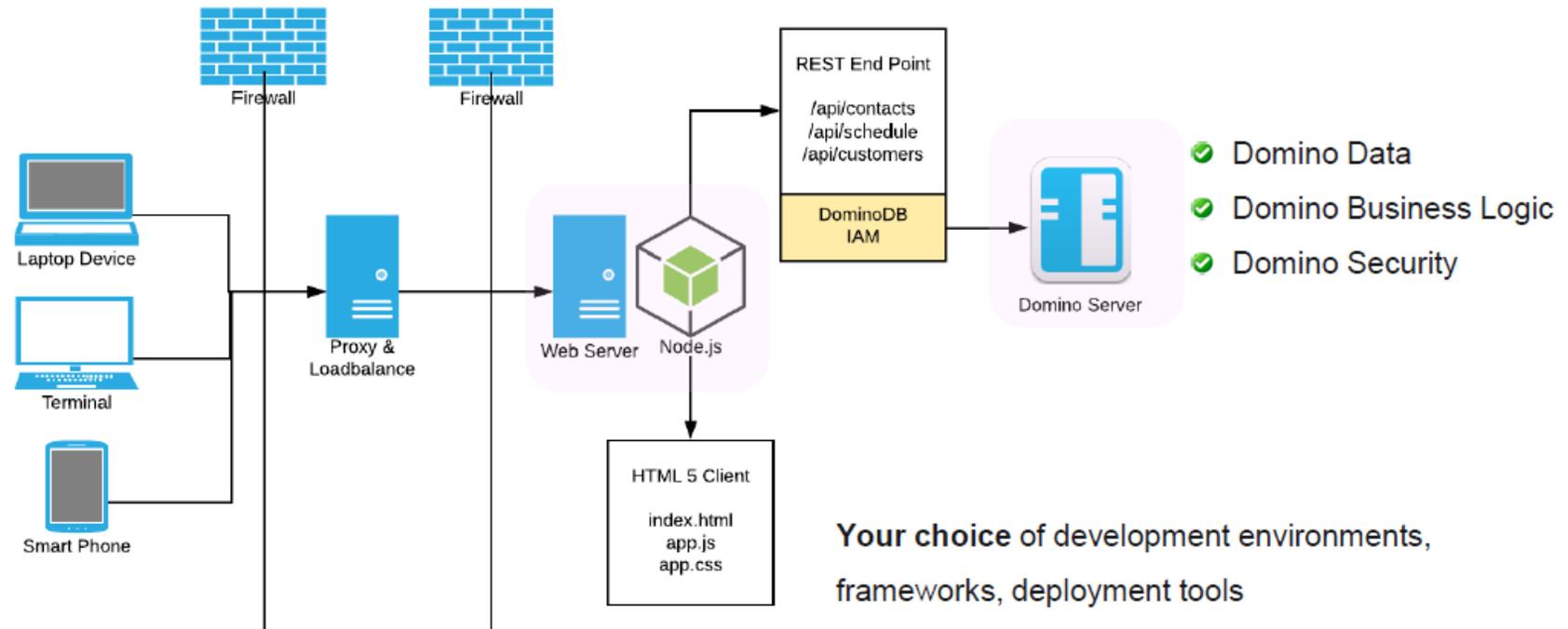
- Order History ✓
- Opportunities ✓

```

< > REFERENCE.md DominoDB Reference
1 # DominoDB Reference
2
3 <!-- START doctoc generated TOC please keep comment here to allow auto update -->
4
5 <!-- DON'T EDIT THIS SECTION, INSTEAD RE-RUN doctoc TO UPDATE -->
6
7 **Table of Contents**
8
9 - [DominoDB class](#dominodb-class)
10 - [useServer](#useserver)
11 - [Server class](#server-class)
12 - [useDatabase](#usedatabase)
13 - [getHostName](#gethostname)
14 - [getConnection](#getconnection)
15 - [Database class](#database-class)
16 - [useDocument](#usedocument)
17 - [createDocument](#createdocument)
18 - [bulkCreateDocuments](#bulkcreatedocuments)
19 - [bulkReadDocuments](#bulkreaddocuments)
20 - [bulkReadDocumentsByUnid](#bulkreaddocumentsbyunid)
21 - [bulkDeleteDocuments](#bulkdeletedocuments)
22 - [bulkDeleteDocumentsByUnid](#bulkdeletedocumentsbyunid)
23 - [bulkDeleteItems](#bulkdeleteitems)
24 - [bulkDeleteItemsByUnid](#bulkdeleteitemsbyunid)
25 - [bulkReplaceItems](#bulkreplaceitems)
26 - [bulkReplaceItemsByUnid](#bulkreplaceitemsbyunid)
27 - [bulkReplaceDocumentsByUnid](#bulkreplacedocumentsbyunid)
28 - [explainQuery](#explainquery)
29 - [getServer](#getserver)
30 - [getFilePath](#getfilepath)
31 - [Document class](#document-class)
32 - [getDatabase](#getdatabase)
33 - [getUnid](#getunid)
34 - [read](#read)
35 - [replaceItems](#replaceitems)
36 - [replace](#replace)
37 - [delete](#delete)
38 - [deleteItems](#deleteitems)
39 - [BulkResponse class](#bulkresponse-class)
40 - [BulkResponse Properties](#bulkresponse-properties)
41 - [BulkResponse Examples](#bulkresponse-examples)
42 - [DominoDbError class](#dominodberror-class)
43 - [DominoDbError Properties](#dominodberror-properties)
44 - [Error codes](#error-codes)
45

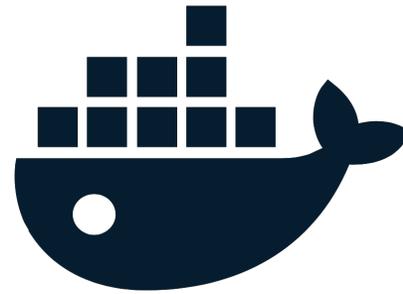
```

Example: Node.js application architecture with Domino V10



新しい サポート プラットフォーム

Domino V10
Docker イメージの提供



docker

Domino V10
サポート プラットフォームに
CentOSを追加



CentOS

V11情報

Notes/Domino ストラテジー

「ビジネスユーザとプロフェッショナル開発者が
コラボレーションや自動化集約型のビジネス課題を解決する為に使用する
アプリケーション高速開発環境」

#dominoforever

“ユーザーエクスペリエンス”
- ビジネスユーザーにフォーカス

Domino V11

- Intuitive
- Invaluable
- Lower TCO

“ベースラインと製品品質”
- 開発手法やサーバ管理にフォーカス

Domino V10

- Faster
- Modern
- Lower TCO

2018

2019

2020
+

「ユーザーエクスペリエンス」と「モバイルアプリ」にフォーカス

- 次世代Notes/ICAAクライアントへの大きな進化・軽量化。
- モバイルアプリとして、Domino Apps on **Android/Chrome** の展開。
- アプリケーションテンプレートの大きな進化。

New Experience – デスクトップ版Notesの進化

The screenshot displays the HCL Notes desktop application interface. At the top, there is a menu bar with options like 'File', 'Edit', 'View', 'Create', 'Actions', 'Tools', 'Windows', and 'Help'. Below the menu bar, there are tabs for 'Rahul Saxena - Mail', 'Rahul Saxena - Calendar', and another 'Rahul Saxena - Mail'. The main area is divided into a left sidebar, a central inbox, and a right sidebar.

Left Sidebar: Shows the user profile 'Rahul saxena' and a list of folders: 'Mail 10', 'Inbox', 'Draft', 'Sent', 'All Documents', 'By Sender', and 'Show More'.

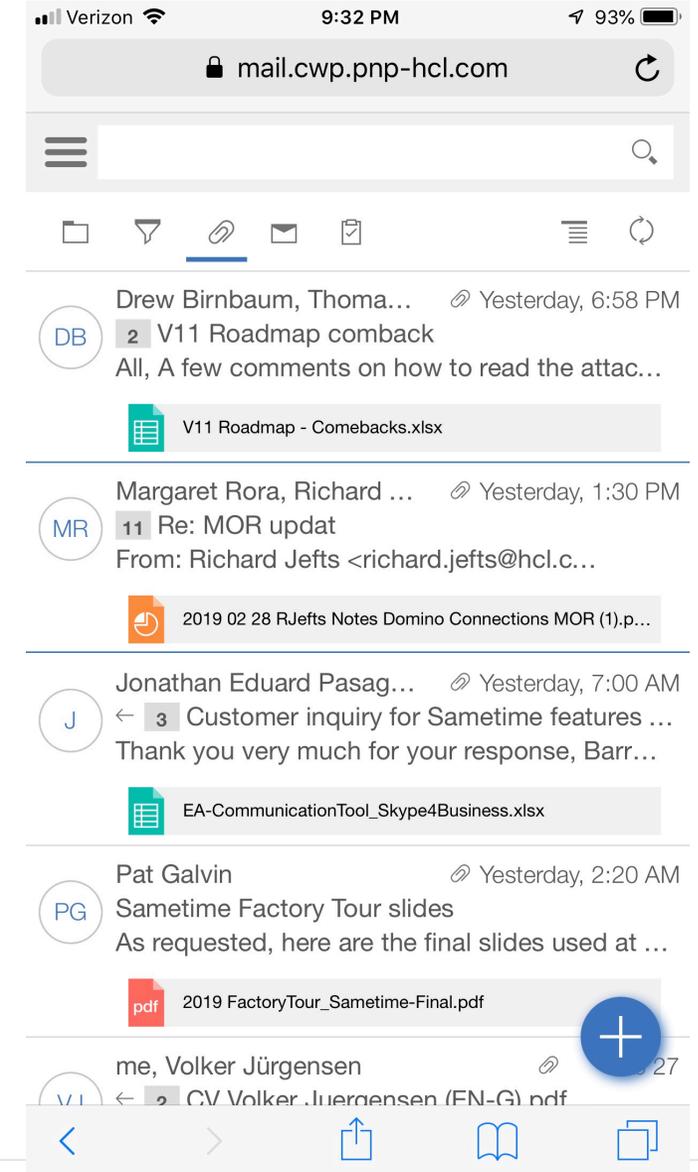
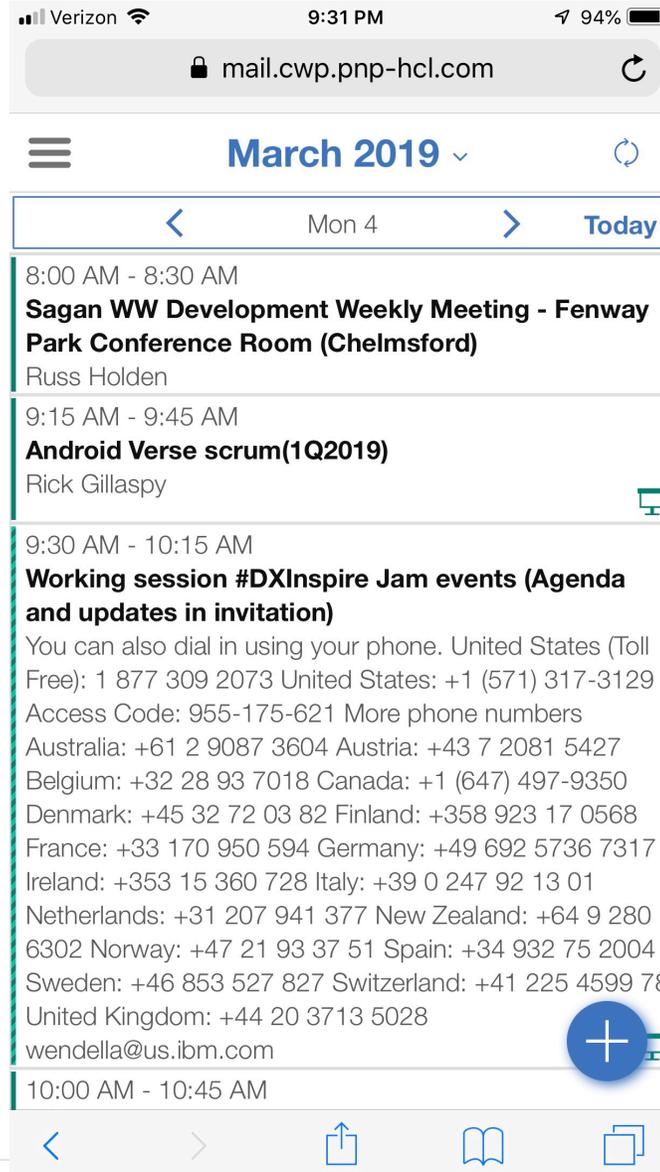
Central Inbox: A table listing emails with columns for 'Who', 'Subject', 'Date', and 'Size'. The selected email is from 'Ram Krishnamurthy' with the subject 'Sagan Teamroom follow on - Check your notes.ini for DELEGATED_MAIL_FILE...'. Below the table, the email content is displayed, including a header 'Information Update - There are multiple changes: Sagan WW Development Weekly Meeting' and the body text 'Lorem Ipsum is simply dummy text of the printing and typesetting industry...'.

Right Sidebar: Contains a 'Log in' section for 'Community server' with a text input field containing 'chat.sametime.cwp.pnp-hcl.co'. Below this are fields for 'User name' and 'Password'. There are also checkboxes for 'Remember password' and 'Automatically Log in', and a dropdown for 'Availability status' set to 'Available'. At the bottom, there are buttons for 'Log in', 'Day -At-A-Glance', and 'My Widgets'.

Conceptual User Experience Prototype

- Investment
- Commitment
- V11 & beyond

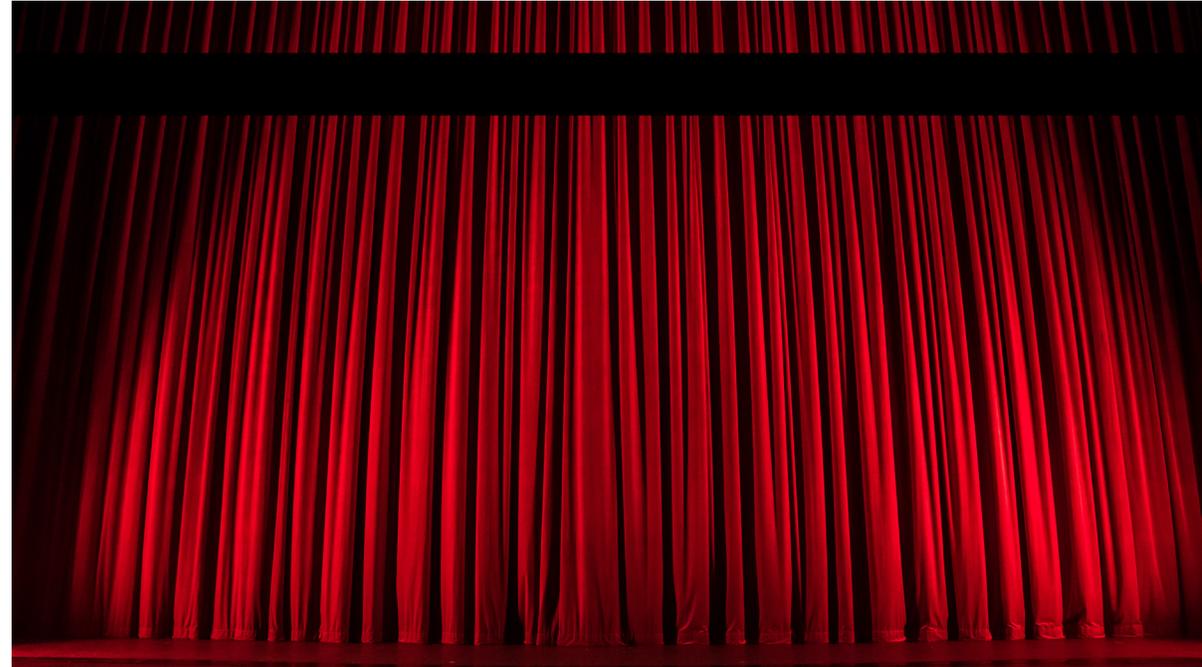
New Experience – モバイル用Webメールの進化



Verse Web on a Mobile Browser

- Continuous delivery
- New mobile browser client
- Commitment to browser & mobile

全く新しい「メール&アプリ」クライアントの登場



*New desktop client
for Apps and Mail (or just Apps)*

近日発表！

- Best of Verse and Mobile Apps
- Beta in 2H-2019
- Delivery in 2020

The V11 開発環境ストラテジー 「Pro-Code から Low-Codeへ」

Browser
Business Users

Visual Workflow
@formula language
Connectivity

V11 & beyond – **新しい Low-Code 開発へ**

Domino Designer

XPages

Workflow
LotusScript

V10 & beyond – **モバイルとWebアプリ**

- Standard V10 (w/ Eclipse)
- Classic

@formula language
Classic NSF UI

Replication, security, encryption

Atom, Visual Studio
Full Stack Developers

Node.js
Java

V10 & beyond – **新しいSkill と Framework**



HCL SOFTWARE